

アジアでがんを生き延びる

東京大学全学研究科横断型教育プログラム「日本・アジア学」
科目コード：4990180 GII-WS6119L1 31M220-1350S 31D220-1350S
講義名：アジアでがんを生き延びる(地域文化研究特殊研究III)
「日本・アジア学」教育プログラムは、文系・理系を問わず、
激動するアジアを広く、そして深く知ることができるカリキュラムです。

私たちは今までにない時代に生きている
急増するがんはアジアの今を映し出す鏡で
あるが、コロナという苦難は医療と社会の
ありようそのものの弱さをあぶり出した
いまあらためて問いたい
人類がやまいを抱えて生き延びるとは？
がんを通してアジアの未来をみつめる



担当教員:東京大学大学院情報学環・学際情報学府
総合癌研究国際戦略推進寄付講座 特任教授 赤座 英之
特任講師 河原ノリエ

夏学期 WEB授業 | オンデマンド | 火曜日 5限 16:50-18:35

配信日程

期限内公開(詳細はUTAS 参照)

2単位
再履修可能



4/21

越境する知—文理複眼

Cross boundary study

吉見俊哉 東京大学情報学環・学際情報学府教授



5/12

がんの自然誌—ゲノムと時間

Natural history of Cancer

中村桂子 JT生命誌研究館名誉館長

増井 徹 慶應義塾大学特別招聘教授



5/19

アジアの鏡としてのがん

Cancer as a mirror

赤座英之 東京大学情報学環・学際情報学府特任教授



5/26

がん患者ケアがつなぐもの

Lesson of Japanese cancer patient care for Asia

垣添忠生 日本対がん協会会長



6/2

民族疫学—疫学研究のダイナミズムと

研究方法の複雑性 Ethnoepidemiology

田島和雄 三重大学名誉教授



6/19

がんと腸内細菌

Environmental protection of Cancer

服部幸應 学校法人服部学園理事長

赤座英之 東京大学情報学環・学際情報学府特任教授



6/16

医療人類学から読み解くアジアのがん

Medical anthropology in Asian Cancer

波平恵美子 お茶の水女子大学名誉教授



6/23

アジア健康構想と抗がん剤開発

Cancer drug development in Asia Health Initiative

近藤達也 一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長



6/30

がん研究とアジア

Cancer research in Asia

中釜 斎 国立がん研究センター理事長



7/7

医療の桃源郷は存在しうるのか—アジアの

がんと健康の経済学

Cancer health Economy in Asia

井上 肇 国立国際医療研究センター(NCGM)企画戦略局長



7/14

アジアの研究開発能力と公的研究費

Asian Research Power and Public Research funding

岩崎 甫 AMED革新的医療技術創出拠点プロジェクト
プログラムスーパーバイザー



7/21

がんという病の地政学—がんはグローバル

ヘルスアジェンダになりうるのか

Cancer in Global context

河原ノリエ 東京大学情報学環・学際情報学府特任講師



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

詳しくは

www.siccn.org

*状況に応じて授業の順番や講師の変更ありますのでUTASで確認おねがいします。

講義への
問い合わせ norie.kawahara@siccn.org
08050397646 河原ノリエ

受講生の声から

2011年から続くこのシリーズを受講した過去の受講生からの声をもとに本講義のエッセンスをのべさせていただきます。

文系理系を超えた幅広い視点を持ちたい あなたへ

がんを医学はもとより、政治・経済・文化など様々な領域から捉えてみることを通して、世界の内実を読み解くことを学問的考察の端緒とする学際連携プログラム「Cross-boundary Cancer Studies」の一環に位置づけられています。「研究とは自らの問題意識を丁寧に育てていくこと」であり、各テーマごとに深掘りされていく場所へ降りていくことで、自分の専門分野を相対化してみることが促される仕掛けになっています。

がんというやまいの本質を知りたい あなたへ

がんという自分からは遠いとおもっていた事象を具体的に学ぶことで、その本質を理解することができます。この疾病がなぜ、このようにマスコミで多くとりあげられるのか、社会のどのような構図とむすびついているのか、最先端のバイオテクノロジー、AIから、地域、家族、個人のありようなど人間存在の根源的課題に至るまで、このがんというやまいの今日的な課題のありようを学ぶことができます。

リーダーシップを学びたい あなたへ

講師の人選にあたっては、それぞれの分野で重い課題を背負いながら、世界を切り拓くことを自らの言葉でひねり出してくださる方をお願いしました。がんという事象を通し、課題設定と課題解決の力を学ぶことができます。本物のリーダーから本物のリーダーシップの在り方、世界を構造的に見る視点を学び、その後の進路に影響を受けたと語る受講生が数多くいます。

参考図書



◀ アジアでがんを生き延びる
赤座英之・河原ノリエ 編
東京大学出版会2013年4月刊



▶ **Surviving Cancer in Asia**
Cross-boundary Cancer Studies
The University of Tokyo, JICO

論文の書き方に迷っている あなたへ

本講座では毎年、質的研究論文作成についての授業を設けています。今回は、波平恵美子先生の講義において予定しています。参与観察、インタビュー、データ整理、文書調査など、大学院生たちが出会う質的研究遂行のうえでの様々な困難について、具体的事例に則して指導いただきます。

英語の授業参加をためらっている あなたへ

秋冬学期に本講座と連動した英語の授業を開講します。英語授業に苦手意識をもっている方たちもこれを機会にこの秋から英語で学ぶことを始めてみませんか？がんはグローバル課題であり、文系理系を問わず英語で学んでいくことが特に重要なテーマですから、サポート体制も準備しています。連続した学びで更に、学際視点を深めてみましょう。